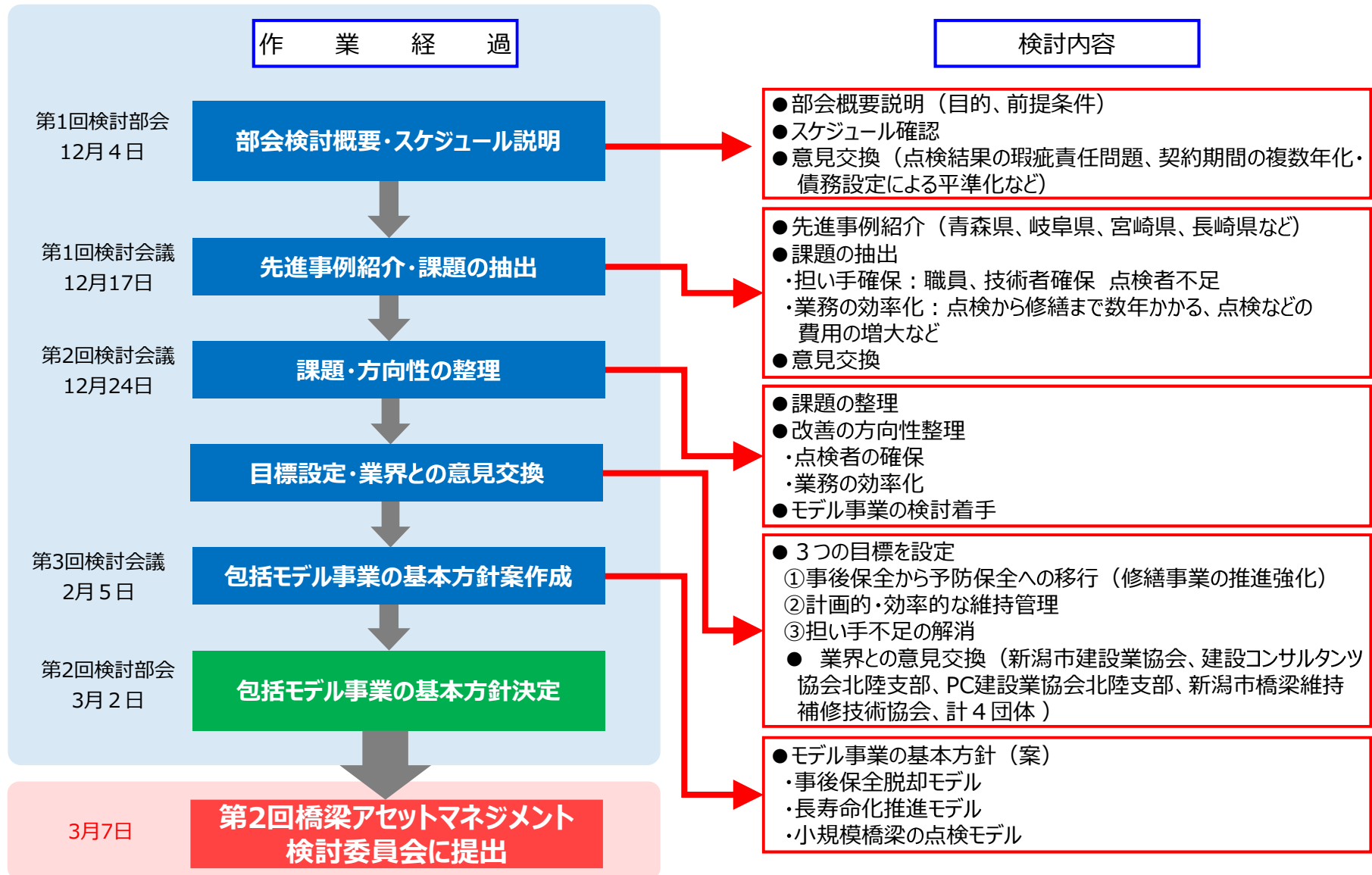


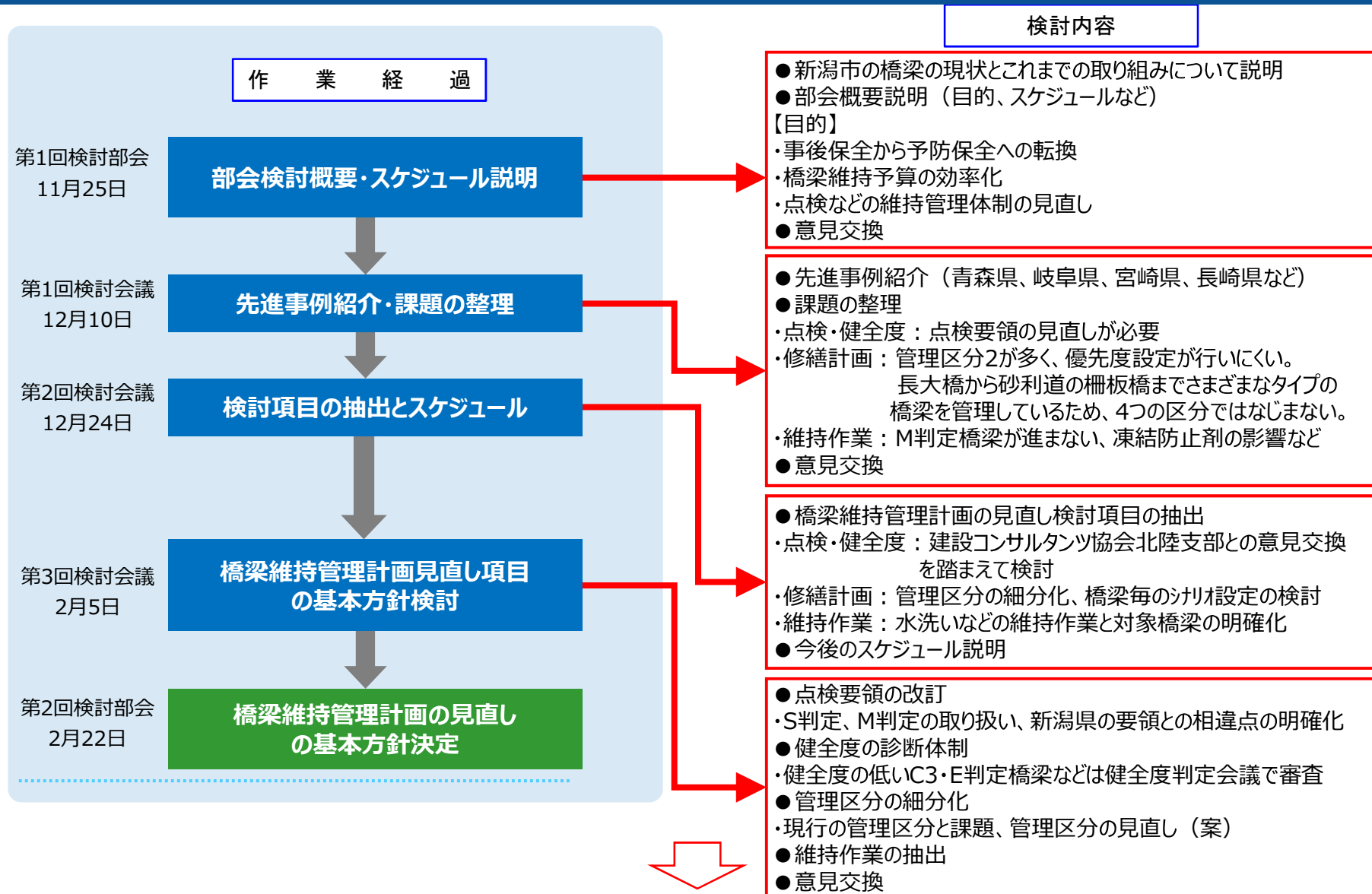
参考資料

平成28年3月

包括的契約検討部会（WG1） 取組み状況



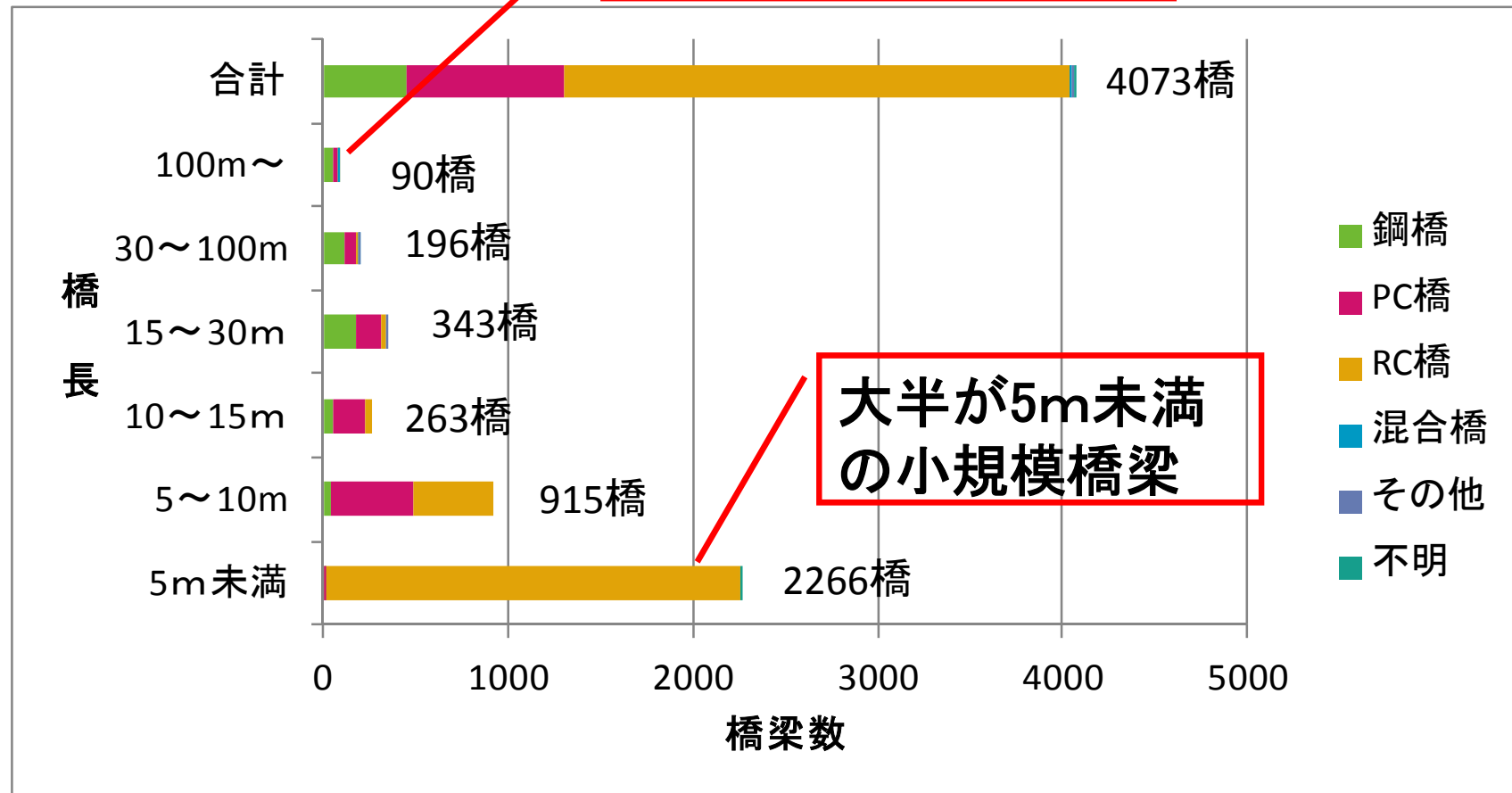
橋梁維持管理検討部会(WG2) 取組み状況



これらをまとめて基本方針とし、第2回橋梁アセットマネジメント検討委員会に提出（3月7日）

橋長別橋梁数

長大橋も90橋管理

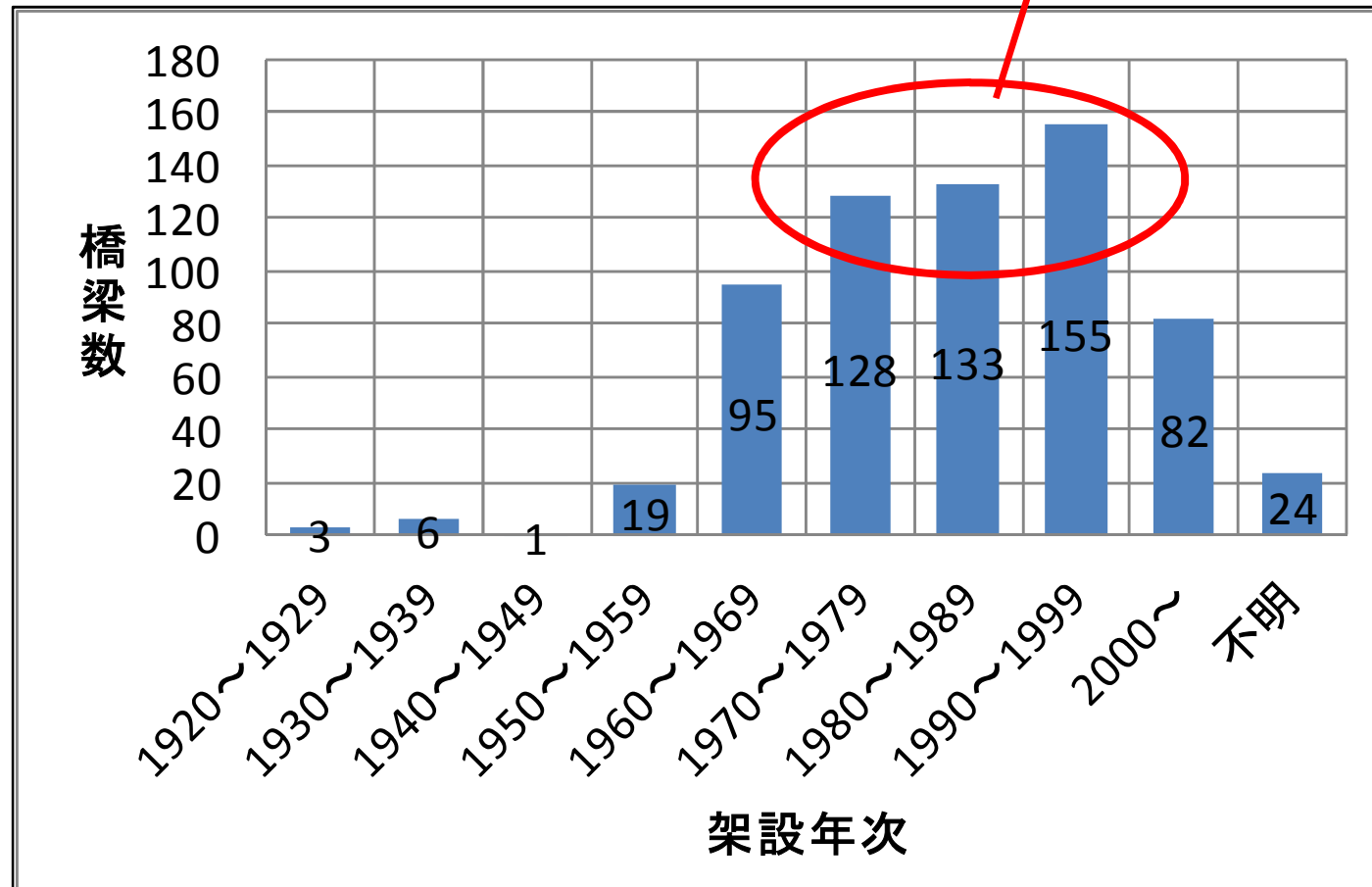


大半が5m未満
の小規模橋梁

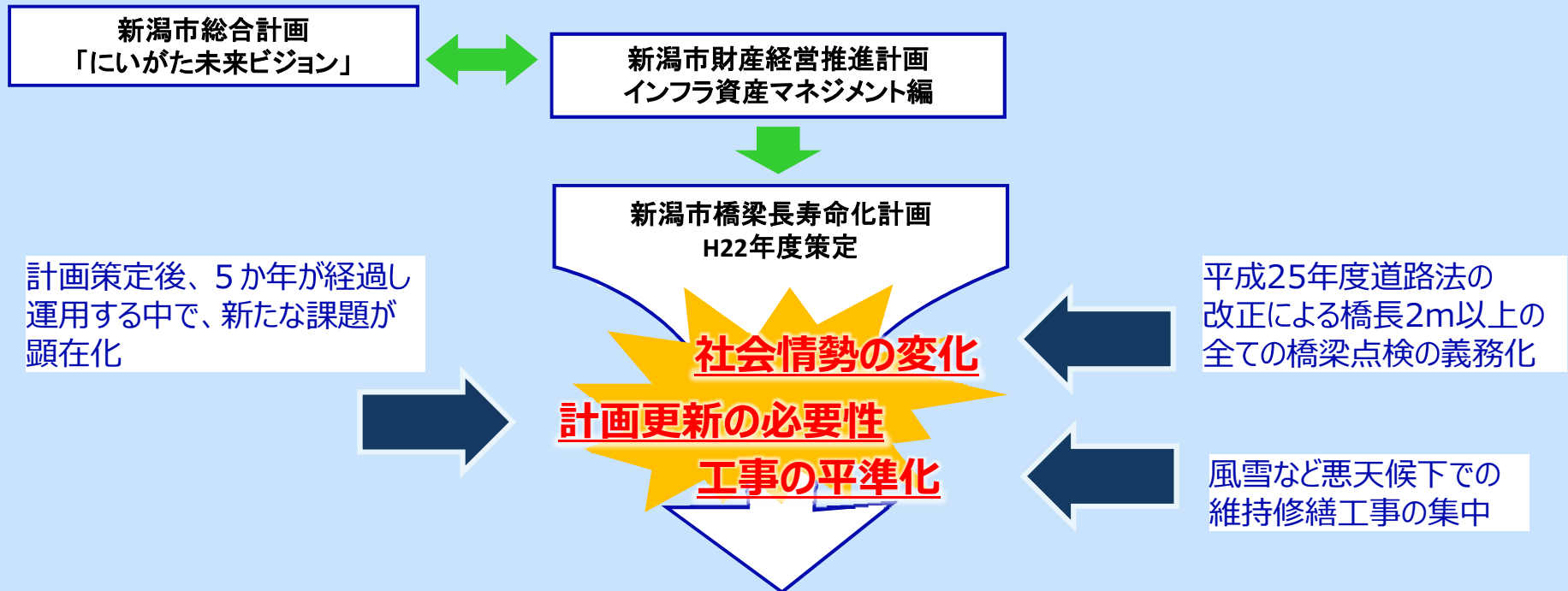
架設年次別橋梁数

架設年次別橋梁数(橋長14.5m以上対象)

1970年代～1990年代に多く架設



これまでの経緯



産・学・官による取り組み

橋梁維持管理検討部会

包括的契約検討部会

- ・「メリハリ」の効いた維持管理計画
- ・より精度の高い維持管理計画

目指す方向性

計画の推進を強化する
発注・契約パターンの
検討・社会実験

戦略的な維持管理体制への深化

基本方針

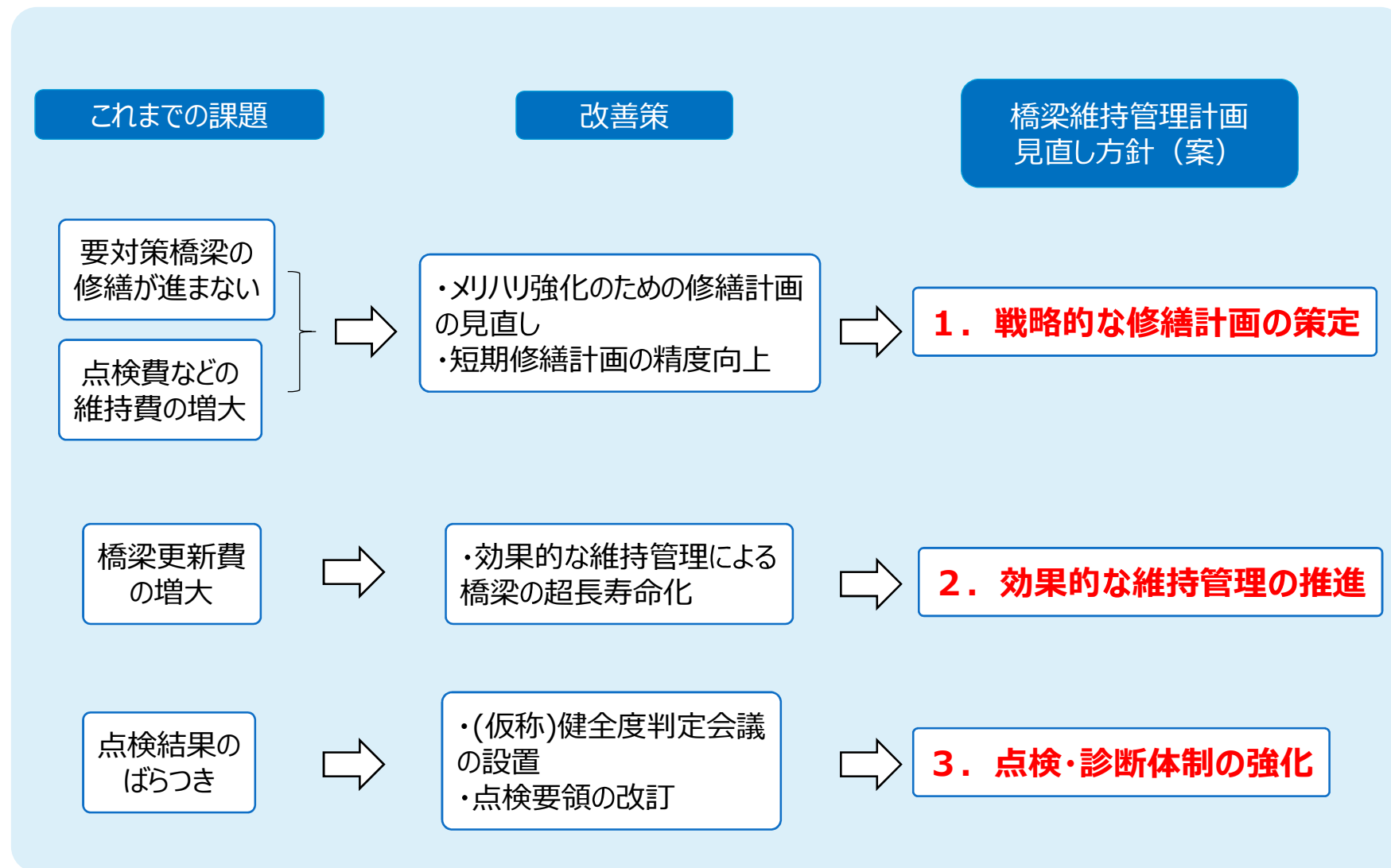
戦略的な維持管理体制への深化とは…

効率的かつ実効性のある維持管理計画及びマネジメントシステムを確立し、社会実験・効果検証を行う

- 橋梁ごとに「維持管理シナリオ」を導入し、維持修繕のメリハリを強化
- サビ対策を考慮した維持管理の構築
- 包括化と多様な契約方式を導入したマネジメントシステムの確立による
 - ・ 修繕速度の向上と、事後保全から予防保全中心の維持管理への速やかな移行
 - ・ 年間業務の平準化(工事閑散期4～6月の活用)と品質向上

見直し方針（案）	社会実験方針（案）… モデル事業実施・検証
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none">○新潟市橋梁長寿命化修繕計画の策定から5年が経過し、顕在化した課題を踏まえ維持管理計画を検討する。 <p>戦略的な修繕計画の策定</p> <p>【主な項目】</p> <ul style="list-style-type: none">○橋梁維持管理シナリオのメリハリ強化○中長期を見据えた5箇年の短期修繕計画の策定 <p>効果的な維持管理の推進</p> <p>【主な項目】</p> <ul style="list-style-type: none">○長寿命化を目指し、水洗いなど効果的な作業による長寿命化の推進○更新費用の平準化・低減 <p>点検・診断体制の強化</p> <p>【主な項目】</p> <ul style="list-style-type: none">○(仮称)健全度審査会議の設置○点検要領改訂による精度向上	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none">○修繕速度を上げて、事後保全から予防保全への転換を図る○工事閑散期(4月から6月)の活用により、年間業務の平準化、工事の更なる品質向上を図る○点検者不足の解消とコスト削減を図るモデル事業の効果検証 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">包括的な契約方式の導入による解決</p> <p>事後保全脱却モデル</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">○工事と設計をセットで、複数年、複数橋の包括契約を行う <p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none">○包括により、工期、コストの縮減が図られ、実施速度が向上 <p>長寿命化推進モデル</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">○点検と工事、維持作業をセットで、複数年、複数橋の包括契約を行う <p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none">○細やかなメンテナンスで長寿命化を推進する <p>小規模橋梁の点検モデル</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">○地元建設会社などによる複数年の小規模橋梁群点検の実施 <p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none">○点検者の確保○業務をとおして地形地物に精通し、災害時の対応力強化を図る

橋梁維持管理計画見直し方針(案)について



戦略的な修繕計画の策定

現行の橋梁優先順位の考え方

- ・道路ネットワークの重要度、橋梁特性（構造・第三者被害等）の観点から4つの区分に分類。
- ・同一健全度で管理区分の上位橋梁から優先。

管理区分1

- ・緊急輸送道路1次の国県道
- ・交通量20,000台/日以上路線

管理区分2

- ・緊急輸送道路2次・3次の国県市道
- ・交通量5,000~20,000台/日
- ・管理区分1以外のトラス橋などの特殊橋梁
- ・塩害区分に該当するP C 橋
- ・第三者被害の可能性の高い橋梁
- ・橋長15m以上

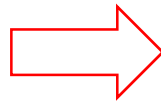
管理区分3

- ・重要市道
- ・交通量1,000~5,000台/日
- ・15m未満の鋼橋
- ・多径間橋梁
- ・塩害区分に該当するR C 橋
- ・架け替えが困難

管理区分4

- ・上記以外

見直し



橋梁優先順位の変更方針

- ・現行の4つの管理区分を基本として、永久架橋を目指すシナリオ、予防保全シナリオ、事後保全シナリオ、更新シナリオなど更に細分化することにより、メリハリを強化する。

- ### 管理区分1
- ・緊急輸送道路1次の国県道
 - ・交通量20,000台/日以上路線

- ### 管理区分2
- ・緊急輸送道路2次・3次の国県市道
 - ・交通量5,000~20,000台/日
 - ・管理区分1以外のトラス橋などの特殊橋梁
 - ・塩害区分に該当するP C 橋
 - ・第三者被害の可能性の高い橋梁
 - ・橋長15m以上

- ### 管理区分3
- ・重要市道
 - ・交通量1,000~5,000台/日
 - ・15m未満の鋼橋
 - ・多径間橋梁
 - ・塩害区分に該当するR C 橋
 - ・架け替えが困難

- ### 管理区分4
- ・上記以外

維持管理シナリオ

長寿命化シナリオ

永久橋シナリオ

予防保全シナリオ

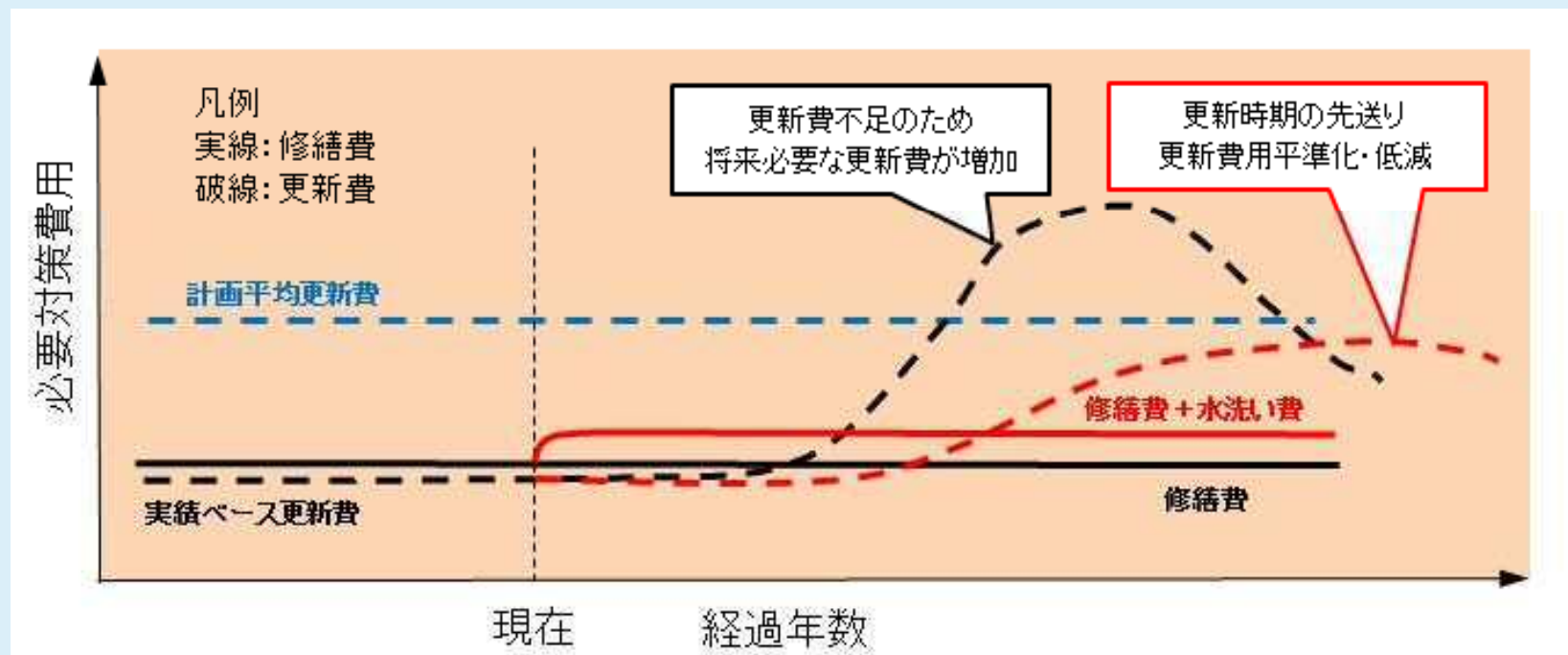
事後保全シナリオ

更新シナリオ

戦略的短期修繕の策定（5箇年）
（メリハリのある修繕計画・更新計画とのリンク）

効果的な維持管理の推進

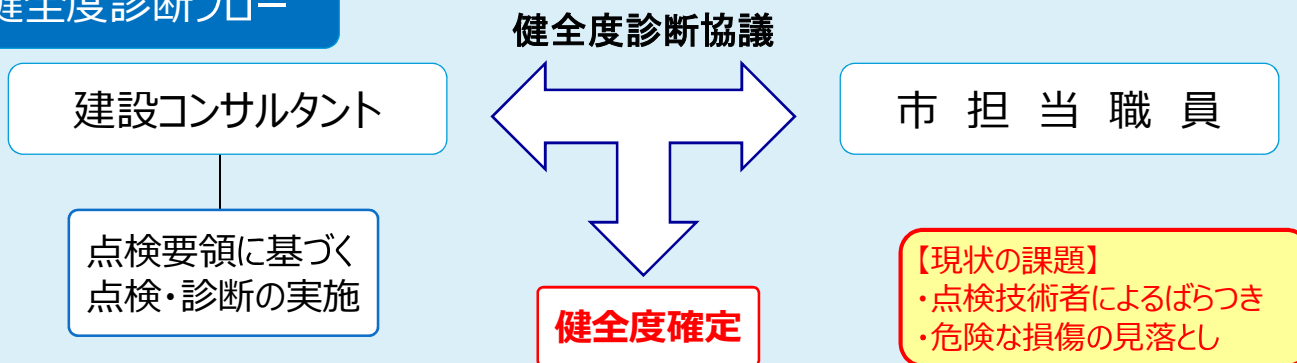
・**水洗い**など新たな効果的な維持作業により、**長寿命化**を推進し、**橋梁更新時期の先送り・更新費用の平準化や低減**を図る。



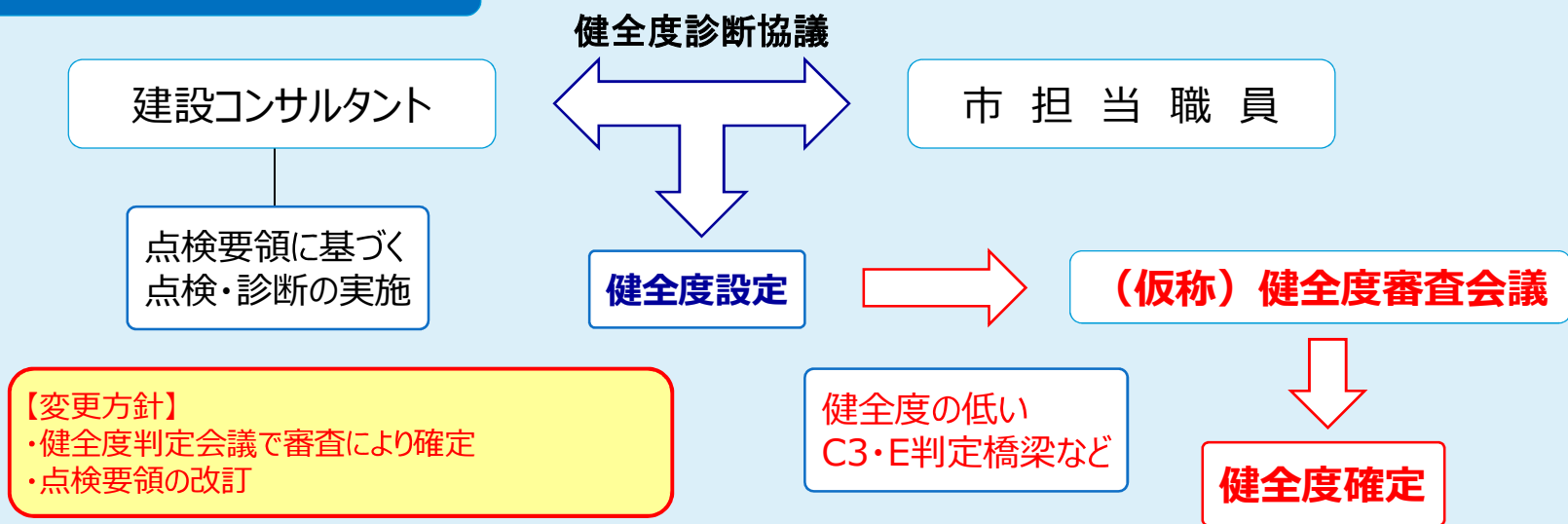
橋梁の修繕・更新費の予算イメージ

点検・診断体制の強化


現行の健全度診断フロー



点検・健全度診断変更方針



包括的契約手法による社会実験方針(案)

	橋梁規模	写真(イメージ)	検討会で抽出された 主な課題	課題解決に向けた 方向性	社会実験方針(案)		
小規模橋梁	5m未満		<ul style="list-style-type: none"> ●点検者不足 ●点検費用増大 	管理橋梁数全体の約6割にあたる5m未満の小規模橋梁の点検を省力化して、包括発注することにより、点検者不足解消と費用の縮減を図る	モデル事業パターン	<div style="background-color: #f4a460; padding: 10px; text-align: center;"> 小規模橋梁の 点検モデル </div>	【概要】 ○地元建設会社などによる複数年の小規模橋梁群点検の実施 【期待される効果】 ○点検者の確保 ○業務をとおして地形地物に精通し、災害時の対応力強化を図る
	5m以上						
	15m未満						
大規模橋梁	15m以上	 	<ul style="list-style-type: none"> ●年度末の工事集中 ●冬期間の品質確保の手間増大 ●設計から施工までの長期化 ●施工時に新たな損傷の発見 	点検～工事までの業務プロセスを包括発注することにより、時間的および費用的な効率の向上と、複数年契約により年間業務平準化を図ることで、品質確保を容易にする	モデル事業パターン	<div style="background-color: #a4d4a4; padding: 10px; text-align: center;"> 事後保全 脱却モデル </div>	【概要】 ○工事と設計をセットで、複数年、複数橋の包括契約を行う 【期待される効果】 ○包括により、工期、コストの縮減が図られ、実施速度が向上 ○更なる品質向上が図られる
	重要橋梁		<ul style="list-style-type: none"> ●塩害の進行 	重要橋梁を細やかにメンテナンスすることにより、次世代へ良好な状態で引き継ぐ			
						<div style="background-color: #a4c4e4; padding: 10px; text-align: center;"> 長寿命化 推進モデル </div>	【概要】 ○点検と工事、維持作業をセットで、複数年、複数橋の包括契約を行う 【期待される効果】 ○細やかなメンテナンスで長寿命化を推進する

今後のスケジュール(案)

